

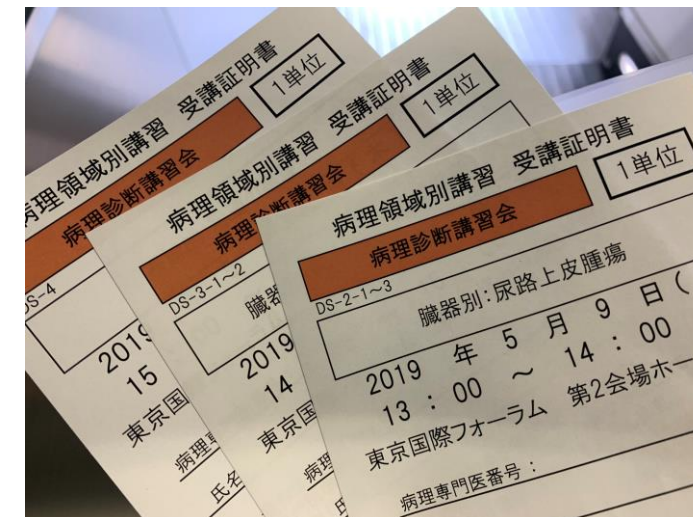
108回 日本病理学会総会 (2019.5.9~5.11) 東京国際フォーラム



テーマ 形態学の挑戦
—病理医の目、分子の目、ITの目で病気の精密な地図を示す—

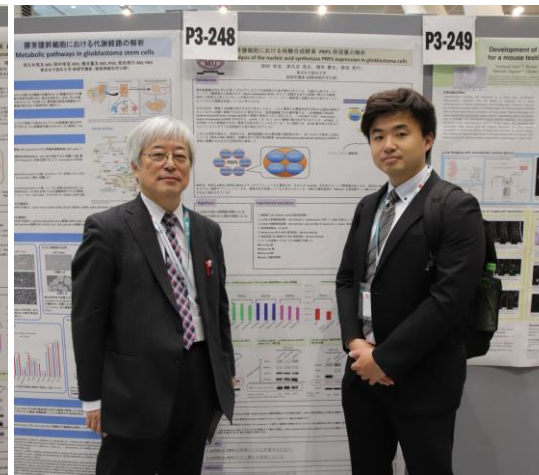
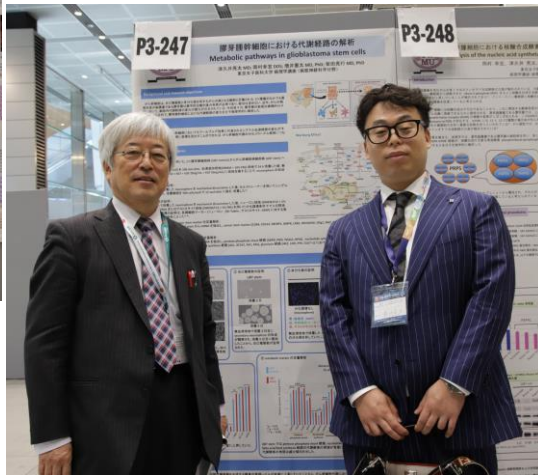
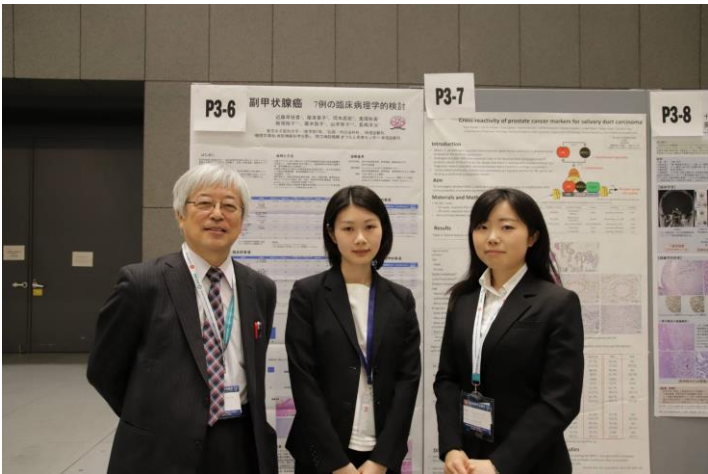
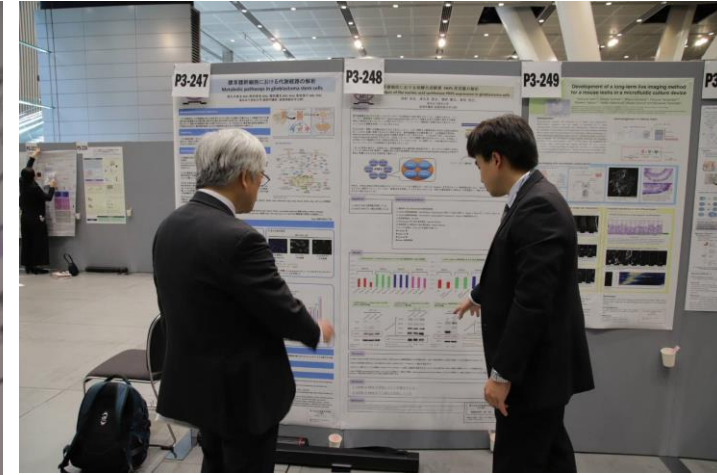
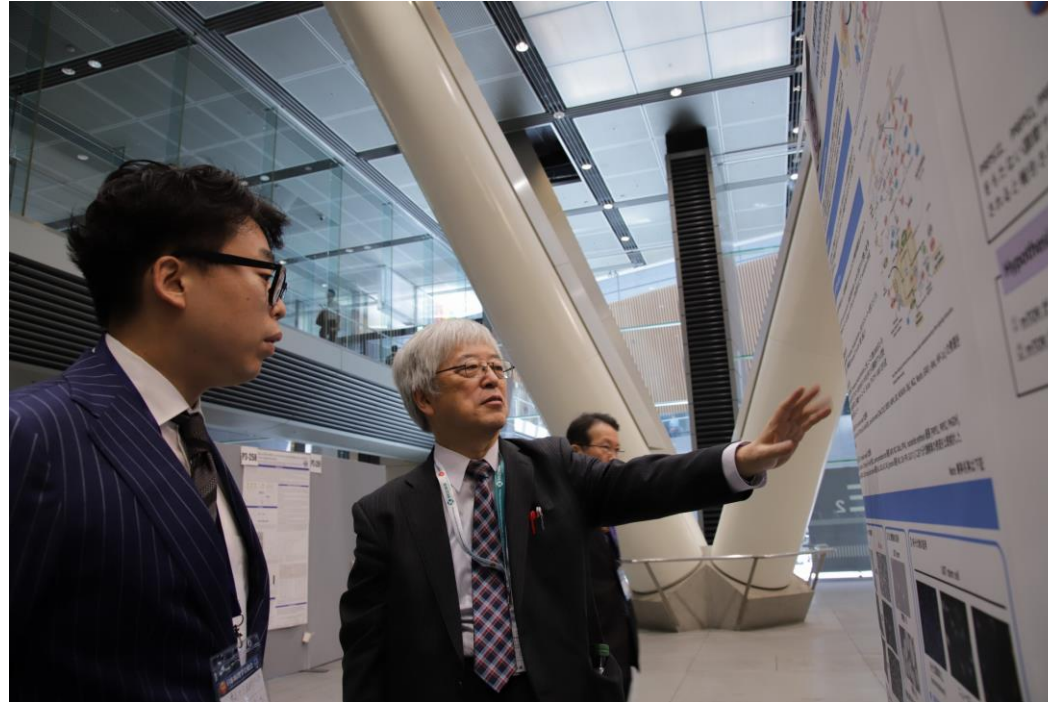
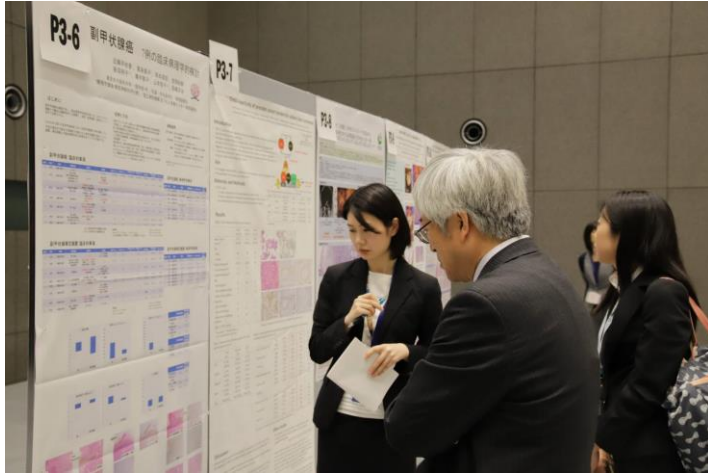


会期 2019年5月9日(休)~11日(土)
会場 東京国際フォーラム
会長 坂元 亨宇 慶應義塾大学医学部 病理学 教授

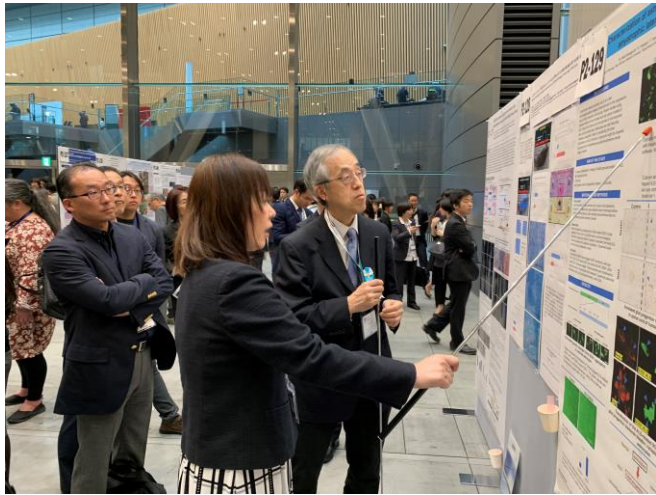


東京国際フォーラムにて、第108回 日本病理学会総会が開催されました。

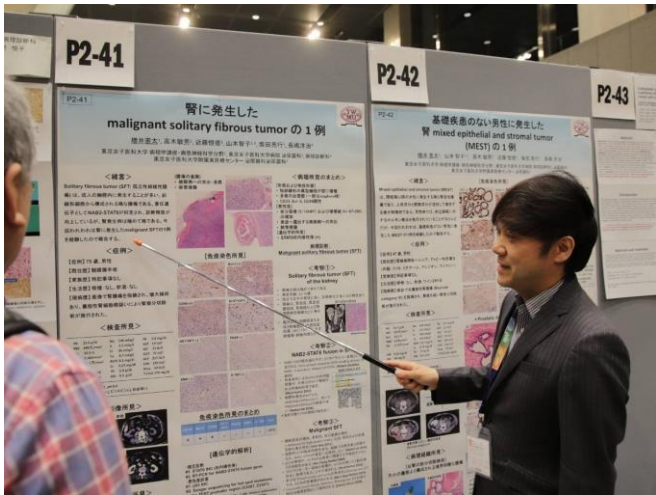
柴田教授による、学生・大学院生への発表直前最終チェック



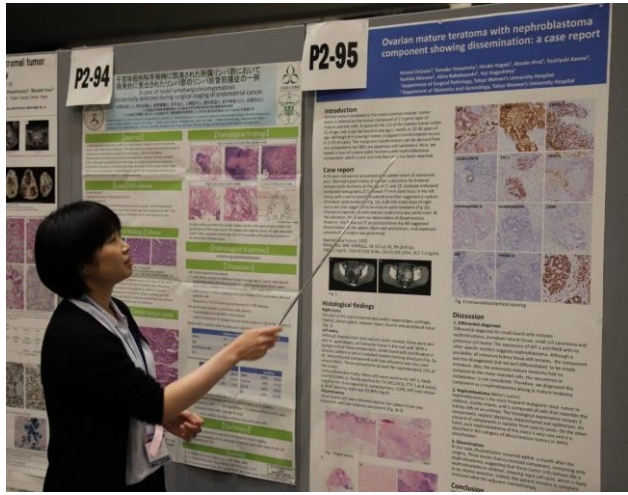
ポスター発表(5.11 E会場)



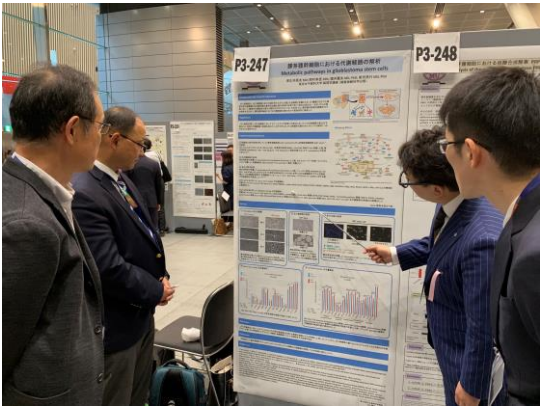
新井田先生 ポスター発表



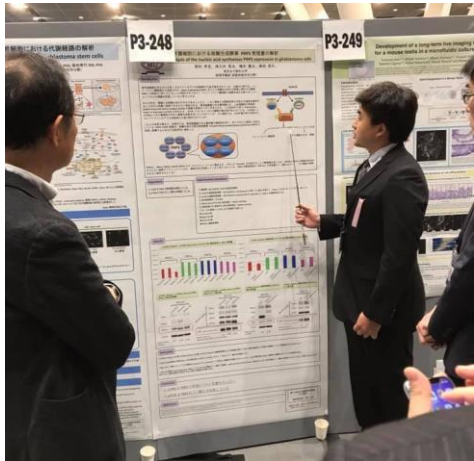
増井先生 ポスター発表



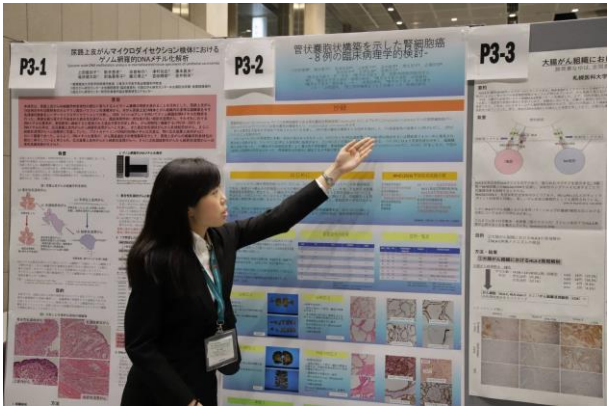
鬼塚先生 ポスター発表



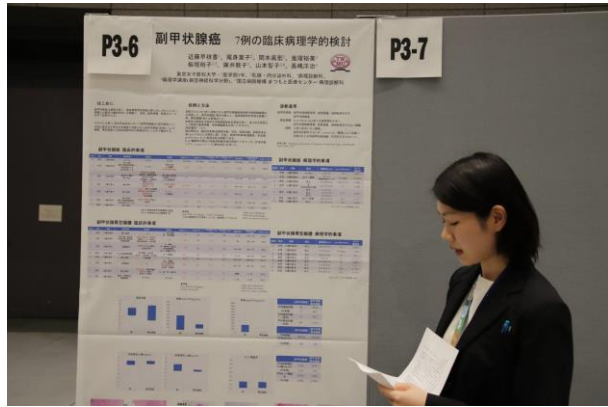
津久井先生 ポスター発表



岡村先生 ポスター発表



4年 小田 英理華さん ポスター発表 (病理診断科)



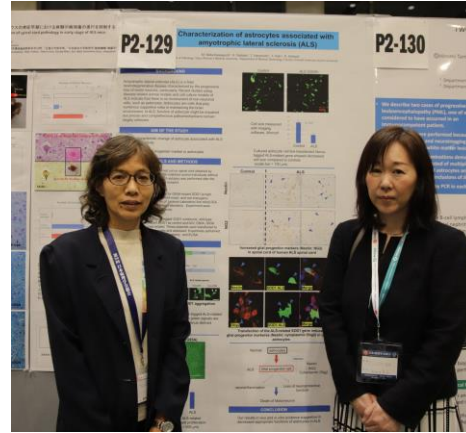
5年 近藤 早枝香さん ポスター発表 (病理診断科)



卒業生 朝比奈 由衣さん
病理診断科 長嶋 洋治先生



柴田 亮行先生

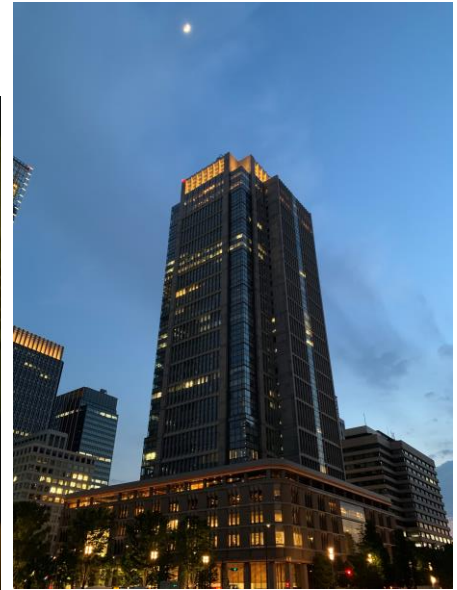


山本 智子先生



香川大学病理
上野 正樹先生

お疲れさまでした会！



丸ビルの上にはきれいな月が！